

## 学級活動（人権）学習指導案

1 主 題 命の大切さ

2 主題設定の理由【省略】

3 ねらい

みやこしゆきなさんが書いた命についての詩やエピソードを通して、命の大切さについて考え、命はかけがえのないものであることを自覚し、限りある命を懸命に生きようとする心情を育てる。

4 指導計画

(1) これまでの学習

行事 「牟岐少年自然の家宿泊学習」	・・・・・・・・・・ 2日間
道徳科「ちがうことばんざい」(ひかり)	・・・・・・・・・・ 1時間
理科 「メダカのたんじょう」(啓林館)	・・・・・・・・・・ 4時間
理科 「ヒトのたんじょう」(啓林館)	・・・・・・・・・・ 4時間

(2) 現在の学習

道徳科「命の詩—電池が切れるまで」(光村図書)	・・・・・・・・・・ 1時間 (本時)
-------------------------	---------------------

(3) これからの学習

道徳科「みんなで話そう」(ひかり)	・・・・・・・・・・ 1時間
-------------------	----------------

5 本時の学習

(1) 目 標

みやこしゆきなさんの詩やエピソードから、尊い命を大切にするために今の自分に何ができるかを考え、今ある命を精いっぱい生きようとする意欲を高める。

(2) 普遍的な学習のテーマ 生命尊重

(3) 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>2 「命」の詩を読んで、作者が一番伝えたかったことは何かを考える。</p>	<p>○ これまでの学習を振り返ることで、命の大切さを改めて感じることができるようにする。</p> <p>○ 挙手が少ない場合はペアで相談してもよいことを伝える。</p> <p>○ みやこしゆきなさんの紹介をすることで、より深く考えることができるようになる。</p> <p>○ 自分たちと作者の考えの違いに気付かせる。</p>
<p>命を大切にするために今の自分ができることは何だろう。</p>	
<p>3 今の自分にできることは何かを考え、複数の友達と共有する。</p> <p>4 活動を振り返り、一人一人の考えを全体で共有し、本時のまとめをする。</p>	<p>○ 友達と考えを共有する時間を設けることで、自分の考えを深めることができるようになる。②</p> <p>○ 共感できるところや自分とは違う考えのところがあるかを問うことで、考えやすくする。</p> <p>○ 命を大切にするために何ができるかを、作者が伝えたいことと重ね合わせて全体で共有する時間を設ける。①</p>

(4) 評 価

○ 命を大切にするために、自分が今できることをしようとする意欲を高めることができたか。

【価値的・態度的側面】①

○ 作者の気持ちになって考えたことを伝えたり、友達の考えを受け止めたりすることができたか。

【技能的側面】②